特別会計

１　国民健康保険事業会計

当年度は、歳入決算額20,037,663千円に対し、歳出決算額19,731,146千円となっている。

歳入歳出差引額は、306,517千円の黒字となっており、全額翌年度へ繰り越されている。

歳入歳出の内訳は、それぞれ次頁のとおりである。

前年度と比較すると、歳入で1,517,995千円(8.2％)、歳出で1,591,139千円(8.8％)と

それぞれ増加している。

歳入の増加の主な要因は、療養給付費等交付金で463,172千円(△38.1％)、国庫支出金で272,672千円(△7.3％)とそれぞれ減少したものの、共同事業交付金で1,864,909千円(98.1％)、前期高齢者交付金で467,049千円(8.6％)とそれぞれ増加したことによるものである。

歳出の増加の主な要因は、介護納付金で139,616千円(△17.0％)、保険給付費で116,541千円(△0.9％)とそれぞれ減少したものの、共同事業拠出金で1,937,729千円(99.5％)、

公債費で115,132千円(72.6％)とそれぞれ増加したことによるものである。

国民健康保険税の収納状況は、前年度と比較すると収入済額で195,440千円(△5.1％)

減少し、収入未済額で62,740千円(△5.8％)減少している。

また、収納率は76.1％であり、前年度と比較すると、0.4ポイント上昇している。

不納欠損額は107,578千円で、前年度と比較すると24,165千円(△18.3％)減少している。

なお、予算に定められた一時借入金の借入れの最高額は1,500,000千円であるが、借入れはなかった。

　　歳出予算の流用は、予算の定めに従って適正に処理されていた。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 （単位：千円・％）

(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・％)



国民健康保険税収納状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　(単位：千円・％)

(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

国民健康保険税と保険給付費等の比較



保険給付費の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・件)



市債現在高の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　(単位：千円・％)



２　荻布奨学金事業会計

当年度は歳入歳出決算額とも1,285千円の同額となっている。

歳入歳出の内訳は、それぞれ下表のとおりである。

歳入では、荻布奨学基金からの繰入金726千円は、前年度と比較すると553千円

(△43.2％)減少している。

奨学金は、14人の高校生及び高専生に対し1,272千円支給されている。

歳入決算状況 　　 　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



奨学金支給状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



３　駐車場事業会計

当年度は歳入決算額603,577千円に対し、歳出決算額も同額となっている。

歳入歳出の内訳は、それぞれ下表のとおりである。

事業収入は279,904千円で、前年度と比較すると68,591千円(△19.7％)減少している。

これは、高岡駐車場の事業収入が222千円増加したものの、高岡中央駐車場で60,984千円、御旅屋駐車場で7,829千円とそれぞれ減少したことによるものである。

　地方債は、起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法について、予算の定めに従って行われていた。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



市債現在高の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)

　御旅屋駐車場利用状況

　(注)　（　）内数字は、合計台数の内数。

高岡中央駐車場利用状況

　(注)　（　）内数字は、合計台数の内数。

高岡駐車場利用状況

　(注)　（　）内数字は、合計台数の内数。

４　工業団地造成事業会計

当年度は、歳入決算額215,900千円に対し、歳出決算額も同額となっている。

歳入歳出の内訳は、それぞれ下表のとおりである。

前年度と比較すると、歳入歳出ともに16,389千円(8.2％)増加している。これは、歳入では、高岡オフィスパーク及び四日市工業団地の分譲により財産収入で16,985千円（9.9％）、歳出では、分譲に伴う繰上償還の実施により公債費で15,914千円(9.9％)

増加したことによるものである。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



市債現在高の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



５　介護保険事業会計

当年度は歳入決算額16,526,562千円に対し、歳出決算額16,362,398千円で、歳入歳出差引額は、164,164千円の黒字となっており、全額翌年度へ繰り越されている｡

歳入歳出の内訳は、それぞれ下表のとおりである。

歳入は、前年度と比較すると403,257千円(2.5％)増加している。

これは主に、支払基金交付金で136,241千円(△3.0％)減少したものの、保険料で286,713千円(8.3％)、国庫支出金で38,696千円(1.1％)、県支出金で24,473千円(1.1％)とそれぞれ増加したことによるものである。

歳出は、前年度と比較すると386,383千円(2.4％)増加している。

これは主に、介護サービスを利用した際に支払われる保険給付費が、252,058千円(1.6％)増加したことによるものである。

また、介護給付費準備基金として73,904千円が積立てられている。

なお、予算に定められた一時借入金の借入れの最高額は300,000千円であるが、借入れはなかった。

　歳出予算の流用は、予算の定めに従って適正に処理されていた。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



(注)　「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



第１号被保険者の介護保険料収納状況　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



(注)　「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

保険給付費の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・件)



６　後期高齢者医療事業会計

当年度は歳入決算額2,119,494千円に対し、歳出決算額2,116,824千円で、歳入歳出

差引額2,670千円の黒字となっており、全額翌年度へ繰り越されている｡

歳入歳出の内訳は、それぞれ下表のとおりである。

前年度と比較すると、歳入で53,022千円（△2.4％）、歳出で54,447千円（△2.5％）とそれぞれ減少している。これは主に、歳入では、保険料で39,682千円（△2.3％）、

歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金で61,013千円（△2.9％）減少したことによるものである。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)

（注）「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)

